

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 6 月 1 日 作成

事務事業名		都市計画見直し事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連						
総合 計画 体系	政策	1	人々が安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名 辻 賢一郎						
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名 大塚 勝己						
	基本事業	17	計画的な市街地の形成			所属班	都市計画班	(内線) 2246						
予算科目	会計	1	款	8	項	4	目	1	事業連番	10153	法令根拠	都市計画法	成果優先度評価結果	5
													コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 46 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)								

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	県や市が決定(変更)する都市計画についての案の協議、作成、一般への周知、都市計画審議会への付議、都市計画の告示縦覧などの手続きを行う。 昭和46年に「熊本都市計画区域」に編入されたことにより開始した事務である。 区域区分(線引き)の定期見直しは10年に1度行われるが、本市の区域内では市街化区域の拡大はされていない。市街化調整区域内でも開発行為は行われているが、必ずしも市街化区域と連続していないため、市街化区域の拡大にはつながらない。 市街化調整区域内では、住宅系の建築物の建築を予定した地区計画が27地区都市計画決定され、うち23地区で開発行為が完了している。
【業務の流れ】	相談や要望への対応、関係機関等との事前協議、案の作成、公告縦覧(周知)、都市計画審議会への案の付議、都市計画の決定(変更)告示縦覧、図書の送付
【主な予算費目】	旅費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	区域区分(線引き)に関しては市街化区域の拡大や一体化を望む声もある。今後の市の発展のための対策としては、原則として開発を抑制しつつ市にとって必要な開発は行う方がよい、との意見が多い。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 都市計画見直しの相談要望の対応、都市計画案の作成、関係機関との協議、案の公告縦覧、都市計画審議会への付議、都市計画の告示縦覧、資料作成のためのGISシステム研修参加	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 都市計画見直しの相談要望の対応、都市計画案の作成、関係機関との協議、案の公告縦覧、都市計画審議会への付議、都市計画の告示縦覧、資料作成のためのGISシステム研修参加
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ ア 作成した都市計画の案	(単位) 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 都市計画(区域区分、都市施設、地区計画等)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ ア 市街化区域の面積 イ 都市計画を決定(変更)した面積
(単位) ha	(単位) ha
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 都市計画法や上位計画に基づいて、適宜都市計画を見直すことにより、市の発展と秩序ある整備を目指す。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ ア 市街化区域で新たに開発された面積 イ 地区計画の区域内で新たに開発された面積
(単位) ha	(単位) ha
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 ア 市街化区域の特性にあった土地利用がなされたことを示す イ 市街化調整区域で開発を適切に誘導し、秩序ある土地利用がなされたことを示す	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	件	7	2	3	3	3	3	3
	イ	ha	4.4	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
⑤ 対象指標	ア	ha	545	545	545	545	545	545	545
	イ	ha	4.4	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
⑥ 成果指標	ア	ha	0.5	1.1		1.7	1	1	1
	イ	ha	3.1	0		4.7	4.8	4.8	4.8
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円		4	8	0	8	8
	(A) 事業費計	千円	0	4	8	0	8	8	8
		(A)のうち指定経費	千円						
		(A)のうち時間外、特勤	千円						
		人件費	人	4	4	4	3	4	4
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	820	820	820	920	820	820	820
	千円	3,255	3,280	3,264	3,662	3,264	3,264	3,264	
	千円	3,255	3,284	3,272	3,662	3,272	3,272	3,272	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,255	3,284	3,272	3,662	3,272	3,272	3,272

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

事務事業名	都市計画見直し事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

県や市が決定(変更)する都市計画についての案の協議、作成、一般への周知、都市計画審議会への付議、都市計画の告示縦覧などの法手続きを行った。市都市計画の決定(変更)を行った面積が4.8ha。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

都市計画を定めるうえで道路を設けるものについては、特に交通の安全と円滑を図り、及び道路の交通に起因する障害の防止に資するため、地元警察署との連絡調整にも力を入れる必要がある。